

件名	第14回 蒲田都市づくり推進会議	
日時	平成30年2月6日(火) 13:30~15:00	場所: 区民ホールアプリコ 小ホール
出席者	委員22名 傍聴者7名	
配布資料	第14回蒲田都市づくり推進会議資料	

(以下、敬称略)

## ◆開会・挨拶

- ・大田区まちづくり推進部三本木副参事より、挨拶と資料の確認を行った。
- ・大田区まちづくり都市開発担当飯嶋部長より、開会挨拶を行った。
- ・前回の推進会議より変更のあった蒲田西口商店街振興組合北見委員と大田区議会議員長野委員及び秋成委員、東京都澤井委員、大田区で変更のあった構成員について、大田区まちづくり推進部三本木副参事より説明を行った。
- ・中井座長より、今年度初回の開会として挨拶を賜った。

## ◆資料説明

- ・大田区まちづくり推進部三本木副参事より第13回蒲田都市づくり推進会議における主な意見(資料1)、大田区まちづくり推進部三本木副参事及び大田区都市基盤整備部建設工事課榊原課長より東口駅前広場の初動期整備について(資料2)、大田区まちづくり推進部三本木副参事より、東口駅前広場検討部会(12月11日開催)の設置について(資料3)の説明を行った。

## ◆意見交換

## 座長)

東口駅前広場の工事が長期間になりそうですが、既存の樹木はどのように管理するのでしょうか。いったんどこかへ移動させて戻すのでしょうか。

## ⇒大田区)

東口駅前広場検討部会を昨年12月に立ち上げました。東口駅前広場は、初動期整備において十分なスペースがとれるわけではなく、既存樹木以外にもオブジェがあり、地元の皆さんの思い入れもあるので、周辺のまちづくりと一体となりこの検討部会で検討することになっています。広場面積が十分でないため置けないものもあると考えていますが、委員の皆様の意見を頂きながら、例えば日よけに必要な樹木のみ残していくのか等を検討していきます。

## 座長)

オブジェは工事期間中、別の場所で保管することもできます。しかし、樹木は生きているため、移植して工事終了後に戻すことも可能ですが工期が長いと難しいことだと思います。技術的なことも考えていただきたい。川崎の東口駅前広場でも樹木を近くの公園に避難させていたが、必ずしも全てを戻せたわけではなかった。オブジェと違って生き物であるので、このあたりも東口駅前広場検討部会で検討いただきたい。

## 副座長)

資料2の地下駐輪場に関して、大田区は自転車のマナー等への取り組みも進んでいて大変結構であり、最後に自転車を停める駐輪場においてもマナーを守っていけるようにしていただきたい。また、今後検討されていく内容と思いますが、南側出入口と地下1階が接続する場所に、電磁ロック式の駐輪場所があり、出入りする方と駐輪する方の動線が交錯する箇所なので、課題として留意していただきたい。

また、資料4に関係して、トランスについては現在色々ところで工夫が行われており、80cmまで下げられることがわかった。一方で、トランス以外に開閉器があり、こちらは140cmのままであり、こちらも工夫して下げてもらふ必要があります。東口については、地下駐輪場が整備されるので、今後新たな変圧器が必要になるかもしれない。場合によっては地下を使うなど工夫をしていただくと後になって後悔しないので、電力会社とうまく対応していただけるといいと思います。

## 委員)

旧三和ビル脇に駅ビルに車両が搬入する動線があります。朝夕、通勤通学時にかなりの歩行者が通り、車と人がすれ違う場面も多く、歩行者のための安全対策がありましたら教えていただきたい。

**⇒大田区)**

歩行者と車両が交錯することになりますが、安全対策を運用の方法でできないかと申し入れをしています。安全な方法で対策を行っていきたいと考えています。

**座長)**

以前から課題のある場所です。当面は、誘導員を立てていただくなどの対策があるのかと思います。長期的に整備するときに、大きく改善する方法も検討いただきたい。

**委員)**

地下駐輪場について、2,800台ということで多くの区民が利用します。既存駐輪場の急な勾配について高齢者などは怖いと考えています。サイクルコンベアの速度を遅くするなど配慮していただきたい、また特殊な子供乗せ自転車や電動自転車などを置ける場所を配慮いただきたい。

**⇒大田区)**

周辺の駐輪場の利用実態で、子供乗せ自転車や電動自転車の利用者の割合が2割程度を占めていました。地下駐輪場では、多めに3割を整備し、800台程度収納できるよう予定しています。地下1階と地下2階に登録制で駐輪できるようしています。増加している海外製自転車は、地下1階に駐輪するよう予定しています。

**委員)**

喫煙スペースについて、無くしてしまうとポイ捨ての問題等もでてくるため、分煙などに配慮して確保する必要があると思います。考え方を教えていただきたい。

**⇒大田区)**

国、東京都の動きを勘案し、東口駅前広場検討委員会の中で喫煙スペースのあり方を地元の皆様と検討していきたいと考えています。最近では有料の喫煙所もあり、新しい事例も踏まえながら検討していきたい。

**委員)**

東口のオブジェについてですが、雑然としているように見えます。歴史のあるオブジェは丁寧に扱っていただき、何を残すのかを歴史的な意味も含めてご判断していただきたい。

**⇒大田区)**

広場スペースに限りもありますので、それらを含めて検討します。

**座長)**

地下駐輪場を整備するため、地上に変圧器、地下用換気塔などが出てきます。オブジェ類は部会でしっかりと検討していただきたい。喫煙スペースについては、全般的には無くしていく方向と思いますが、整備するにしても目につく場所であったり、歩行者の多い場所は問題があります。オリンピックもありますので検討していただきたい。

**委員)**

東口駅前広場検討部会で検討することと思いますが、変圧器など地上に出てくるもののカラー計画も駅前広場の全体計画のなかで検討いただきたい、個別に検討されないようお願いしたい。

**座長)**

工期が長いため、部分的に工事を進めていくことになりますが、当然、歩行者の動きがその都度変わります。早めに地元への説明などを行っていただきたい。

**◆資料説明**

- ・大田区まちづくり推進部三本木副参事及び大田区都市基盤整備部建設工事課榊原課長より、西口駅前広場整備工事の報告(資料4)の説明を行った。

**◆意見交換**

**委員)**

蒲田の防犯協会長の立場から言うと、西口駅前の放置自転車をなくしていただきたい。自転車泥棒も多いようです。これが減ると蒲田の犯罪件数も減っていくと思います。

駅前広場中央の交通島で夕方、しゃがんで飲酒している人がいるので対策を講じていただきたい。

また、喫煙スペースが西口の交通島の一番いいところにありますが、駅ビル北側の公衆トイレのほうへ移動してはどうかと考えます。

それから、西口駅前広場の照明が暗いという意見が商店街の役員会でありましたが、実際はどうでしょうか。

**⇒大田区)**

現在、駐輪場整備の検討をしています。駅前広場に違法駐輪すると撤去されます。盗難自転車についても蒲田警察署と協力して対応していきたいと考えています。

**⇒大田区)**

西口駅前広場の中心辺りで飲酒者がいます。警察と地域基盤整備第二課で対応し、一時期いなくなりましたが、また飲酒者が見られます。引き続き、警察と連携しながら対応することを考えています。

喫煙スペースについては、タクシー乗り場の横にありましたが、タクシー待ちの方の受動喫煙で影響を受けるという意見がありました。他の場所も検討しましたがご理解を得られず現在の場所に移動しました。中長期整備に向けて検討していきたいと考えます。

照明の明るさについては、基準値があり、駅前については他の場所よりも高い基準値が設定されています。工事終了後、基準値の最終確認をする予定です。

**座長)**

広場を整備すると次に使い方の問題が出てきます。トラックで来て露店を出して果物を売ったり、ストリートミュージックをしたりなどでできます。ルールで全てを制限するというのではなく、まずは地元の方々とも話し合い、広場をどのようにマネジメントしていくかを検討していただきたい。

照明については、一定以上の照度を確保しなければなりません。以前は、上部から照度を当てるのが主流でしたが、現在は、下部から当てるが主流で暗く感じるのは、デザイン的なこともあるかもしれません。

広場の竣工式のようなものは行われるのでしょうか。

**⇒大田区)**

蒲田大好き委員会から招待を受けましたので、大田区長もセレモニーに出席予定です。

**委員)**

東口のカラーの舗装に関連して、西口は西口部会で決めていったが、点字ブロックや金属部分のカラーなど、ディテールの部分について少々検討が足りなかったと思っています。東口の際にはディテールの部分についても検討が必要と考えます。逆川でも取り組んだ事例があります。

**座長)**

資料4の工事後の写真にありますが、西口でも点字ブロック両側にボーダーの黒い舗装が入っています。これはデザインではなく、輝度差を確保するために入っています。もともとの舗装板の色がもう少し黒ければ輝度差が確保できました。広場は広いので色の決定は影響が大きいのでご検討いただきたい。

**委員)**

点字ブロックの黄色そのものについても、淡い黄色など種類があるので検討の余地があると思います。

**◆説明**

・大田区まちづくり推進部遠藤副参事より新空港線についての説明を行った。

**◆意見交換**

**委員)**

資料1に、要望書について国交省へ提出したとあるが、東京都へも提出したのであれば追加した方がいいのではないのでしょうか。

**⇒大田区)**

国土交通省には、答申の前の平成28年に要望しています。今回は答申を受けて都に要望を出しています。

**◆資料説明**

・大田区まちづくり推進部三本木副参事より、今後のスケジュール(資料5)の説明を行った。

**◆閉会**

・中井座長より、閉会の挨拶を賜り、大田区まちづくり推進部三本木副参事より、閉会の挨拶を行った。

**以上**

平成 29 年度 蒲田都市づくり推進会議 構成員名簿

◆学識経験者

委 員

東京工業大学大学院 環境・社会理工学院教授	中井 検裕	【座長】
東京工業大学大学院 環境・社会理工学院教授	屋井 鉄雄	【副座長】

◆地元関係者

委 員

蒲田東地区自治会連合会	小山 君子	
蒲田西地区自治会連合会	藏方 庸光	
蒲田東口商店街商業協同組合	田中 彰一	
蒲田西口商店街振興組合	北見 公秀	
蒲田東口地区まちづくり協議会	藤田 静男	飯尾 松男
蒲田大好き委員会	望月 清志	
蒲田再開発推進委員会	田中 常雅	
特定非営利活動法人 大身連	宮澤 勇	

◆大田区議会議員

委 員

都市整備委員会 委員長	長野 元祐	
都市整備委員会 副委員長	秋成 靖	

◆東京都

委 員

都市整備局都市基盤部街路計画課長	澤井 正明		
都市整備局都市基盤部交通企画課長	谷崎 馨一		

◆大田区

委 員

まちづくり推進部長	黒澤 明		
まちづくり推進部都市開発担当部長	飯嶋 清市		
まちづくり推進部参事都市計画課長	保下 誠		
まちづくり推進部 公共交通企画担当課長	山田 誉		
まちづくり推進部副参事 (新空港線担当)	遠藤 彰		
まちづくり推進部 都市開発課長	大木 康宏		
まちづくり推進部副参事 (地域整備担当)	三本木 淳治		
まちづくり推進部 防災まちづくり課長	瀬戸 隆司		
都市基盤整備部都市基盤管理課長	明立 周二		
都市基盤整備部 都市基盤計画調整担当課長	谷田川 泰		
都市基盤整備部建設工事課長	榊原 健司		
都市基盤整備部地域基盤整備第二課長	大田 健二		

◆国土交通省

オブザーバー

都市局街路交通施設課企画専門官	栗田 泰正		
-----------------	-------	--	--

第14回 蒲田都市づくり推進会議の様子

